

令和 7 年南伊豆町議会 12 月定例会の開会にあたり、令和 7 年 9 月定例会以降の主な事項について行政報告を申し上げます。

1 協定・覚書締結について

(1) 静岡県・南伊豆町一体型道路等包括管理業務委託の基本的な進め方に関する覚書について

令和 7 年 9 月 17 日、静岡県下田土木事務所と「静岡県・南伊豆町一体型道路等包括管理業務委託の基本的な進め方に関する覚書」を締結しました。

本覚書は、県管理道路及び町管理道路を適切に維持するための小規模な施設修繕や舗装補修等について、同事務所と本町が相互に協力し当該業務の効率的かつ安定的な施行のために必要な事項を定めたものであります。

これにより、これまで単一業務ごとに発注していた案件を包括的に管理することが可能となり、複数の業務を一括して発注・施工することで、行政及び民間の技術者不足による道路インフラの維持管理水準低下を補う体制の構築が図られ、官民建設業の省力化及び品質確保のほか、維持管理費の増大抑制、ひいては住民サービスの向上に繋がるものと期待しております。

全国的に公共インフラの老朽化が深刻な行政課題となるなか、今後も町民の安全・安心な住環境の維持に向けた新たな取組みにより、持続可能な地域づくりを推進してまいります。

(2) P o C 広域連携協定について

10月20日、本町を含む賀茂地域1市5町は、三島信用金庫と「P o C 広域連携協定」を締結しました。

本協定は、「革新的なアイデアや技術を基盤とした新しいビジネスモデルを創出し、短期間での事業成長を目指す企業」に対し、行政と金融機関が相互に連携し、企業による地域内における実証実験（P o C = Proof of Concept）を円滑に実施できる環境を整備することを目的としております。

具体的な連携事項は、企業と地域のマッチング支援、実証実験の実施場所の調整及び提供支援のほか、住民への周知や協力依頼に関する支援等でありまして、こうした活動を通じて誘致した企業による地域課題の解決や新産業の創出に加え、賀茂地域を「実証フィールドモデル」として全国に発信する契機になるものと期待しております。

2 町制施行 70 周年記念事業について

昭和 30 年旧 6 か村の合併により誕生した本町は、本年 7 月に 70 周年を迎えました。

この 70 年を振り返りますと、昭和 49 年の伊豆半島沖地震をはじめ幾多の自然災害を乗り越え、伊豆半島最南端のまちとして、その輝きを失うことなく、合併以前から今日まで続く様々な歴史・文化を培ってまいりました。

近年は、人口減少や少子高齢化という厳しい現実に向き合っていますが、これに屈することなく、町民の皆様の知恵と力を結集し、本町を持続可能な地域として存続させていく決意を新たにいたしました。

10 月 3 日には休暇村南伊豆において、国会議員や静岡県議会議員をはじめ、静岡県、近隣市町のほか、姉妹都市、友好団体から多くの来賓を迎え、「町政施行 70 周年記念式典」を開催しました。

式典終了後には、東京大学在学中に下賀茂寮へ宿泊するなど本町にゆかりがあり、内閣官房副長官、経済産業大臣等の要職を歴任した西村康稔衆議院議員を講師にお迎えし、「トランプ時代の日本経済と地域の進む道」と題した講演を拝聴することができました。

また、本年度は町制施行 70 周年を記念したイベントを多数用意し

ておりまして、10月25日には杉並区「座・高円寺」でも活躍するパフォーマー「ゼロコ」による舞台「フラッグ」が南伊豆東中学校屋内運動場で上演され、^{せりふ}台詞の無い演劇でありながら、その情景が鮮明に思い浮かぶ、笑いの絶えない舞台を堪能することができました。

この他にも、スポーツ大会開催に対する補助金を予算化したところ、これまで9つの競技で申請があり、野球、サッカー、グラウンドゴルフ等、多くの方々が町制施行70周年を祝い、親睦を図っていただいております。年明けの「みなみの桜と菜の花まつり」では「夜桜流れ星」を復活させ、町内外の方々に幻想的な青野川の風景を楽しんでいただけるよう準備を進めております。

3 町制施行70周年記念第22回フェスタ南伊豆について

10月19日、役場駐車場を会場に「町制施行70周年記念第22回フェスタ南伊豆」が開催されました。

今回のフェスタ南伊豆は、町制施行70周年事業の一環として開催され、町民の皆様にも記念行事を享受していただくため、特別なゲストを招きショーアップした舞台をお届けしました。

世界的なギターリストの伴奏による軽快な音楽、ダンサーの華麗

な衣装や情熱的な踊りに多くの人が魅了されたフラメンコや、演歌歌手 工藤綾乃さんの歌い手と観客が一体となったステージのほか、本町公認アンバサダー「まなまる」こと永藤まなさんによる即興ライブや得意のものまねを盛り込んだステージにより、子供から大人まで楽しめる催しとなりました。

また、本年も杉並区「高円寺阿波踊りおどり合同連」をお迎えし、本町の「ゆうすげ連」との共演となった下賀茂商店街での流し踊りや役場駐車場での輪踊りで会場内を盛り上げていただきました。

このほかにも勇壮で壮大な富岳太鼓や空手演舞、i Z o oの移動ふれあい動物園は子どもたちを中心に人気を集めたほか、キッチンカーをはじめとする飲食ブースは例年を上回る出店数となるなど、皆様の多大なるご協力により一日楽しめるイベントとなりました。

この場をお借りし、フェスタ南伊豆にご参加いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、交通規制などにご理解ご協力を賜りました町民の皆さまに改めて厚く御礼申し上げます。

4 第2回南伊豆町みちくさぼちぼちフルマラソンについて

11月15日、青野川ふるさと公園をスタート・ゴールとして開催された「第2回南伊豆町みちくさぼちぼちフルマラソン」は、募集

定員を上回る 659 名が出走いたしました。

「日本一ゆるいフルマラソン」と銘打った本大会は、5 時間以内での完走は失格になるルールに加え、今回は町政施行 70 周年を記念し、コスプレコンテストを実施するなど趣向を凝らした大会開催となり、参加者は終始和やかな雰囲気の中完走を目指しておりました。

また、コース内に設置された 12 か所のエイドステーションには 100 人を超えるボランティアにご参加をいただき心温まる「おもてなし」が提供され、秋晴れのもとで起伏に富んだ山間部や美しい海岸線など本町ならではの特色あるコースをご堪能いただきました。

大会実施にあたり、運営に多大なるご尽力を賜りました関係者やボランティアの皆様、沿道で熱い声援を送っていただいた方々のほか、交通規制などにご理解ご協力を賜りました町民の皆様に、衷心より厚く御礼申し上げます。

以上で、令和 7 年 12 月定例会の行政報告を終わります。